# 令和4年度 東之宮古墳保存・管理・活用状況(報告)

### 1. 東之宮古墳管理業務

•••資料1-1

東之宮古墳の維持管理のため、次の事項を実施

- ・古墳周辺、進入路の清掃(毎月)
- ・古墳周辺、進入路の草刈り(6月、9月、12月、3月)
- ・古墳墳丘草刈り(6月)

### 2. 東之宮古墳の利用状況

パンフレット現地配布	令和4年4月~令和5年3月	約200部
パンフレットイベント配布数	約3100部	

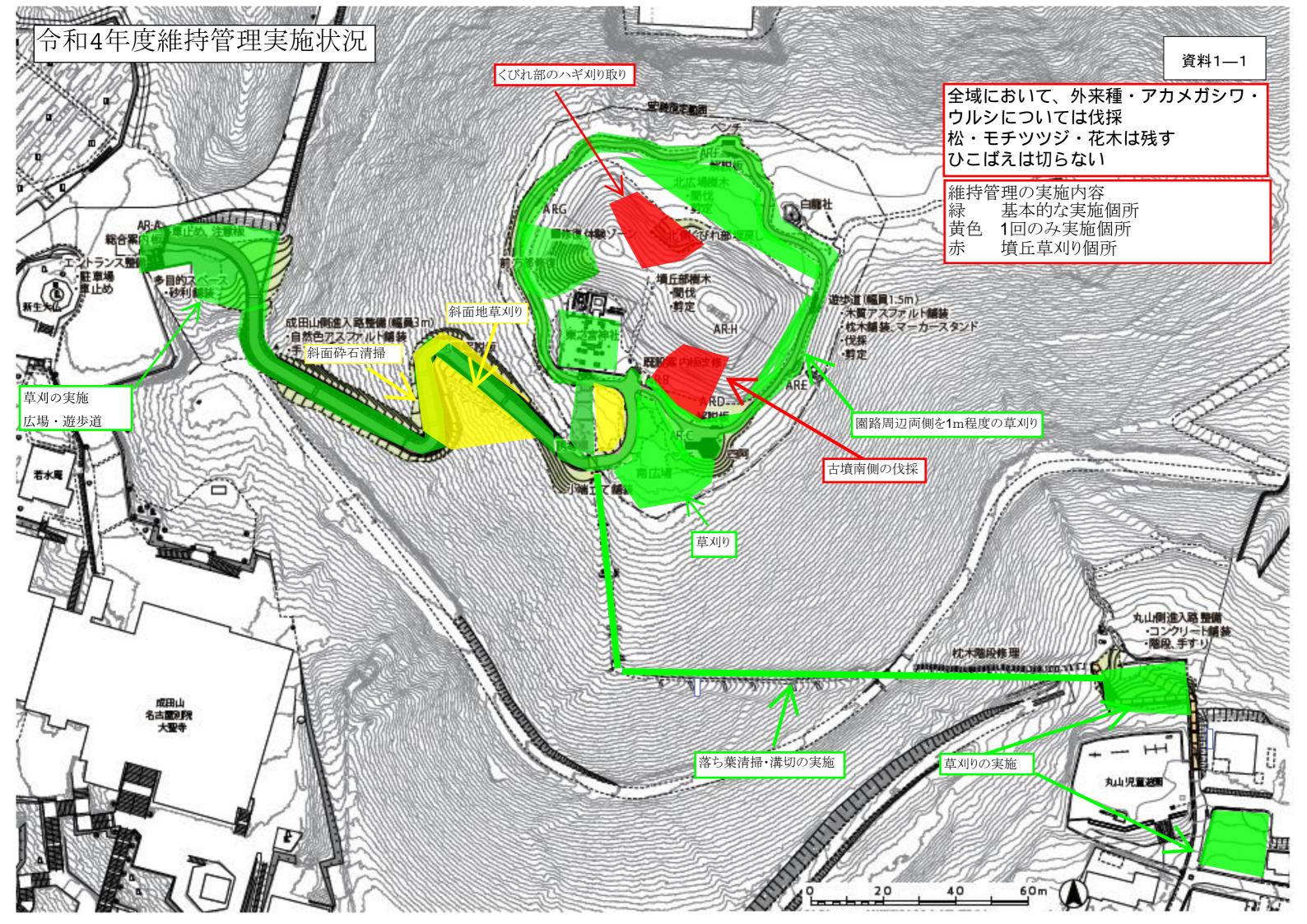
### 3. 東之宮古墳普及啓発事業

•••資料1-2 実施内容 土あげ祭り 実 施:1回目:令和4年9月23日(中止) 40名募集 2回目:令和4年12月17日午前6時30分~ (冬至の日の出見学会同時開催) 参加者23名 3回目:令和5年3月21日午前10時~ (パフォーマンスを実施) 募集人数40名 内 容:東之宮古墳の前方部の削れている箇所を、市民参加 により古墳を修復するイベント「土あげ祭」により 修復する。この事業は令和3年度から令和7年度に かけて実施する。 ② 東之宮古墳散策ツアー 実施:令和4年10月29日午前9時~

参加者13名

内 容:アプリを活用し、犬山祭の神輿巡幸に関わるルート

を散策した。





古墳後方部南側(草刈り前)



墳丘上から四阿(草刈り前)



古墳くびれ部 (伐採前)



成田山側入り口(現状)



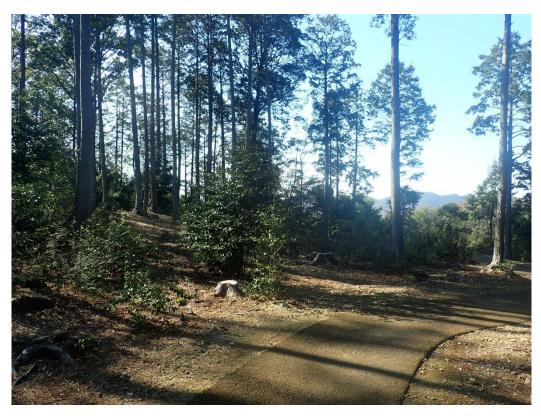
成田山側登り口(現状)



山頂周辺 (現状)



案内看板周辺(現状)



古墳北側(現状)



北側看板周辺とくびれ部(現状)



土あげ祭実施個所(現状)



墳丘部(現状)

# 令和4年度 東之宮古墳普及啓発業務開催状況

### 1. 令和4年度土あげ祭プロジェクト実施状況

第1回 台風接近により中止

日 時:令和4年9月23日(金·祝)午前10時~正午

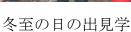
第2回

日時:令和4年12月17日(金・祝)午前6時30分~午前10時30分

参加者:23人

その他:冬至の日の出見学会を同時開催







土あげ祭開始





土入れ

修復

### 第3回

日 時:令和5年3月21日(火・祝)午前10時~正午

参加者: 40人募集

その他:パフォーマンスを実施

### 2. 令和4年10月29日実施「東之宮古墳散策ツアー」開催状況

日 時:令和4年10月29日(土)午前9時~正午

参加者:13人

内 容:東之宮古墳を楽しく学ぶことができるアプリ「東之宮古墳たび」を使って東

之宮古墳とその周辺の文化財をめぐる散策ツアーで、令和4年度は犬山祭の

神輿巡幸に関わるルートを散策した。



散策コース



出発



東之宮古墳解説





道中 御旅所





城下町散策 元宮解説

# 令和5年3月21日土あげ祭実施写真

日 時:令和5年3月21日(火・祝)午前10時~正午

参加者:26人

その他:NHKのニュースにて開催状況が放映されました。





土入れ



出発



パフォーマンス

土あげ

# 令和5年度 東之宮古墳保存・管理・活用事業計画

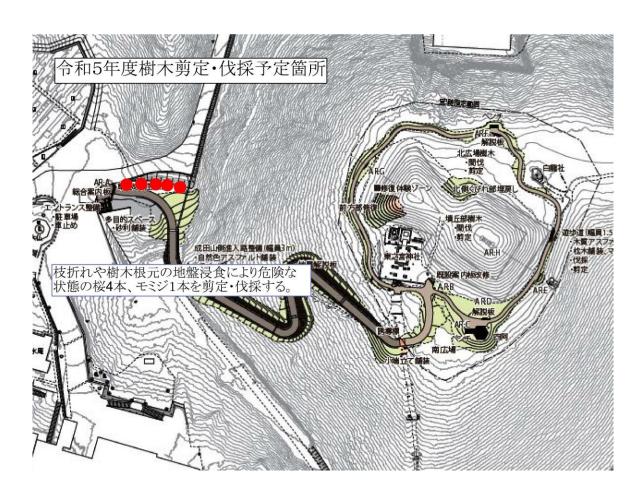
### 1. 東之宮古墳管理業務

東之宮古墳の維持管理のため、次の事項を予定

- ・古墳周辺、進入路の清掃(毎月)
- ・古墳周辺、進入路の草刈り (年4回)
- ・古墳墳丘草刈り(年1回)
- ・成田山側入り口の枯木・危険木の剪定・伐採(桜4本、紅葉1本)

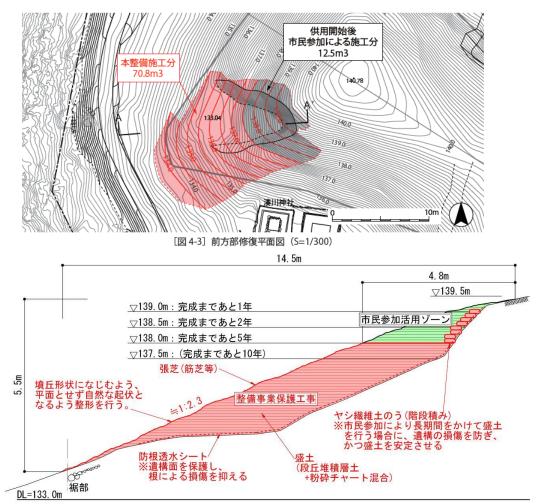
### 2. 東之宮古墳普及啓発事業

**C0076**			
実施内容	1	土あげ祭り	
		9月 (議題(2)にて説明)	
		12月 募集人数30名を予定	
		3月 募集人数40名を予定	
	2	東之宮古墳散策ツアー	
		10~11月に開催予定、募集人数20名を予定	
		コース検討中	



### 東之宮古墳前方部修復について

### 1. 修復予定箇所



#### 2. 実施方法

秋分の日、春分の日、冬至の周辺日に市民参加の古墳修復イベント「土あげ祭」 を開催し、古墳の修復を行っている。

### (1) 土の作成

- ・土は木曽川流域の段丘堆積層に粉砕したチャートをブレンドする。
- ・土 (段丘堆積層) は地元工事業者を通し、入手済み。
- ・粉砕チャートは進入路の壁面チャートから落下したものを集積して使用。

### (2) 土上げ

・土のう袋に作成した土を詰め、土漏れ、運びやすさを重視し麻袋で包む。

・1人で背負い方式で運びあげる。



### (3) 土の叩きしめ

・運びあげた土を墳丘の前方部西コーナーに降ろし、木製タンパーを使用 して叩きしめる。







### 2. 修復必要回数

令和4年度12月開催「冬至の日の出と土あげ祭」修復量(1か月後計測) 現地での計測・・・縦1.5m×横1.2m×高さ0.1m=0.18 m<sup>3</sup>

0.18 m³÷23 人≒0.008 m³ (2 回)

1回あたり1人0.004 ㎡

0.008 m<sup>3</sup>×30 人×3 回=0.72 m<sup>3</sup> (現在までの修復量) 修復必要量 12.5 m<sup>3</sup>-修復量 0.72 m<sup>3</sup>=残り 11.78 m<sup>3</sup>

11.78 m³÷0.008 m³≒必要人数 1473 人

1473 人÷30 人(1 回) ≒**50** 回

### 3. 今後の修復方法について

令和3年から令和7年までの5年計画で修復を実施する予定であったが、現状の修復方法では、参加人数が増えても令和7年度の事業完了が困難な状況であり、令和5年度からは、古墳の修復方法について見直しが必要な状況である。

### 変更案

- ①土あげ祭のイベント開催回数を増やす。
- ②9月の秋分の日の土あげ祭のイベント開催方法の見直し。

9月の土あげ祭は秋分の日に実施することとしていたが令和4年度は台風の接近により中止となっており、今後も台風や天候不良で中止となる可能性がある。

そのため実施時期を変更すると共に、例えば土あげ祭としてではなく、ボランティアや来訪者に協力してもらい、トラックに土を積み込み山の山頂の平坦面まで土を運びあげ、修復箇所まで土を運び古墳を修復する作業を中心とした事業に変更する。

#### 修復想定量

年2回の土あげ祭、年1回の古墳修復イベント実施の場合

現在の修復量 0.72 ㎡

土あげ祭開催数6回×参加者30人=参加人数180人

180 人×0.008 m = 1.44 m (3 年間土あげ祭の修復)

0.72 m³+1.44 m³=2.16 m³ (土あげ祭全体の修復量)

12.5 m<sup>3</sup>-2.16 m<sup>3</sup>=10.34 m<sup>3</sup>(修復イベントでの必要土量)

10.34 m ÷ 3 回 **⇒ 3.44 m** (1 回必要修復量)

3.44 m<sup>3</sup>÷トラック運搬量 0.86 m<sup>3</sup>(1回) =4回

修復イベント 1 回あたり軽トラック 4 回分の土の運搬が必要で、山頂平坦面は車の侵入可能箇所が限られることから、修復箇所までは人力で土を運びあげる。